

H25. 1. 12

# 効果の予測



**長尾和宏** (ながお・かずひろ)  
 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る、総合診療を目指す。医学博士。労働衛生コンサルタント。関西国際大学客員教授。54歳。ブログ(<http://www.nagaoclinic.or.jp/doctorblog/nagao/>)が好評。



「抗がん剤」シリーズ⑦

謹賀新年。今年もよろしくお願ひします。

抗がん剤治療には標準治療と、オーダーメイド治療があります。抗がん剤の効果や難儀な副作用の程度は、がん組織の遺伝子や患者個人の遺伝子である程度予測できます。

転移・再発までも、それをつかさどるがん組織の遺伝子異常である程度予測できる時代です。ただし、それには膨大なお金や手間暇がかかりま

す。保険診療の範囲内ではできないことが多く自費での検査になるので、あまり積極的には行われていません。全員をオーダーメイド治療にするには、検査にコストがかかり過ぎるのです。

では、お金と手間暇の話は横に置いておいて、仮に純粹にがん組織の遺伝子異常と患

## ギャンブルと似て確率の世界

者さん個人の遺伝子情報が分かったとしましょう。そうすれば、抗がん剤の効きやすさや副作用を完全に予測できるのでしょうか。

答えは残念ながら、NOです。効く確率や副作用の確率の予測精度は、ある程度高まります。しかし100%正確に予想できるわけではありません。あくまで、確率の問題です。私はよく「抗がん剤治療は宝くじ」とか、「競馬と似ている」と患者さんに説明しています。

なぜか、抗がん剤治療は実際にやってみないと効果は分かりません。効くと思っていたのに効かなかったり、その反対だったりします。

大昔、抗がん剤の専門家に言われた言葉が忘れられませんが、「抗がん剤治療は、宝くじのようなものだよ。時々、大当たりがあるんだ」と。私は聞き返してみました。「どれくらい確率で、当たるのですか?」と。「さあ、10人に1人当たればいい方じゃないか」と。「まあ、ギャンブル

オーダーメイド治療 がん組織の遺伝子異常を調べることで、治療効果がより期待できる抗がん剤を選ぶことができる。Her2陽性の乳がんにはハーセプチンを使うなど、標準治療からオーダーメイド治療に変わりつつある。

「でも当たったときは快感だよ。それが忘れられないので、また買ってしまっただよ」とも。買って大当たりした人が、また当たることはあるかもしれない。しかし、3回続くことは難しいでしょう。抗がん剤が効きやすいといっても、いつまでも効くわけではありません。耐性ができて、そのうち効きにくくなれば、薬を変えることになり

一方、宝くじは、買わないと絶対に当たりません。ただし買うか買わないかは、あくまで自由。買わないで後悔するくらいなら、一度買ってみたい方がいいのです。もし、はずれだったら、そこで買うのを止めればいいだけ。抗がん剤治療も同じことではないです。

競馬には、オッズがありま

さて、抗がん剤治療は、競馬ともどこか似ているような気がしますが。情報を分析することで事前にある程度、効果が予測できるのです。ただ、あくまで確率の問題なので、はずれることも多々あります。

競馬は当たりたい人だけが参加します。万馬券を当てても1回きりで止めておく手もあります。ちょっと不謹慎な例えだとおしかりを受けるかもしれませんが、抗がん剤が効くかどうか不安だと相談に来られる人には、宝くじや競馬の話はしますが、妙に納得されるのです。

ひよこ